

# 地球の温暖化と森林土壌からの炭素の放出

日時：2017年10月30日 18:00～19:30

場所：幌延町問寒別生涯学習センター多目的ホール

天塩研究林に国内外の研究者が集まる機会を利用して、アジアの森林や地球の温暖化、天塩研究林で行われている研究について、最先端の研究内容をかみ砕いて、皆さま方にご紹介できればと考えております。ぜひご参集いただければ幸いです。

## ●天塩研究林で行われている野外実験

北海道大学 天塩研究林 高木健太郎

## ●アジアの森林土壌が地球の将来を左右する？

国立環境研究所地球環境研究センター 梁乃申

## ●二酸化炭素を放出する、土の中の目に見えない生き物たち

広島大学大学院国際協力研究科 近藤俊明

## ●土の分解のしやすさを調べて、その将来を予測する

日本原子力研究開発機構原子力科学研究部門 小嵐 淳

## ●アジアの様々な森林と野外研究

国立台湾大学 農学部長 徐源泰 / 中国科学院西双版纳热带植物园 張一平

●シンポジウムに先立って、天塩研究林の庁舎周辺で行われている実験サイトの紹介を行います。

希望者は、30日15:30に天塩研究林にお集まりください。

●所要時間は30分程度です。

●若干の時間変更に関するご希望にも対応いたしますので、その際は事前にご連絡ください。

問い合わせ先：Tel: 01632-6-5211

E-mail: kentt@fsc.hokudai.ac.jp



このシンポジウムの開催には「平成29年度環境研究総合推進費 2-1705アジアの森林土壌有機炭素放出の温暖化影響とフィードバック効果に関する包括的研究」の支援を受けています。